

会 議 録

会議名	令和4年度 第5回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時	令和4年9月27日(火) 18時30分～20時00分			
開催場所	大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	22人 (別紙のとおり)		
	その他	1人 公民館長代理		
	事務局	1人 まちづくりセンター所長		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 2人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて</p> <p style="padding-left: 2em;">ア．オープンハウスについて</p> <p style="padding-left: 2em;">イ．次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり基本計画(案)修正の方向性(たたき台)について</p> <p>(2) まちづくりを考える懇談会について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア．次第・役割分担について</p> <p style="padding-left: 2em;">イ．質疑等について</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について</p>			

審 議 経 過

1 あいさつ

山口会長が所要で遅れるため、到着するまで小川副会長が議事を進行した。

2 議 題

(1) 淵野辺駅南口のまちづくりについて

ア．オープンハウスについて

事務局より資料に基づき9月9日(金)10日(土)に実施したオープンハウスの概要と結果を説明した。

イ．次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり基本計画(案)修正の方向性(たたき台)について

事務局より「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画」(案)と「基本計画(案)修正の方向性たたき台」を参照しながら修正の方向性を説明した。

主な意見(○は委員、 は事務局の発言)

○まちづくり会議での課題とした「世代間交流」がどのように複合化施設に反映されていくかがこれからの我々の課題と考える。

たたき台の中に「世代間交流」について記述されているので、そのところを今後は確認していければと考える。

○市民検討委員会で話し合われた意見が、たたき台の文中の下線部分の内容としてとりこまれている。「検討」という事項が多いが、今後詰めていかなければいけないものとする。

跡地利用について市民検討会では、先延ばしとなった経過がある。ちゃんと時間をかけて専門家の意見も聞いて答えを出さなければならない課題と考える。

○各施設の主な課題として、公民館について利用者の固定化とあるが、固定化してはいけないのか？みんなで一緒に継続して勉強するのが生涯学習なのではないかと考える。

○例えとして、商品の企画書は最初に見て美味しそうと思えるのが良い企画書。今回のたたき台は美味しそうに見えた。いいたたき台と思う。

一方で、跡地利用が先送りになっている。経済原則が基本と考えるが、たたき台の中身を具体化するための予算をどうやって生み出すのだろうかと思う。

担当部署に固定化という表現を追加した理由を確認したところ、感覚的にはなるが、新しい人が利用しにくい雰囲気のことを言っているとのこと。

○要望として、文章の中の難しい漢字にはルビをふってほしい。

全部は難しいと思うが、概要版などについて対応できないかを所管部署へ伝える。

○基本計画はどの時点で策定されるのか？

令和5年の3月までには策定する。

○市民検討会の意見を反映させたものが策定されるのか？

市民検討会の意見を取り入れながら、最終的には市の判断で策定する。

○基本計画では、建設場所として3つのゾーンから一つのゾーンに絞られたものが策定されると思うが、その場所に7500㎡もの建物が沼地に建つのか心配している。

これより、山口会長により議事進行。

○当初は跡地を売却して財源に当てる構想だったが、今回の計画では財源について触られていない内容で、どのような複合施設ができるのだろうかかと危惧している。

複合化対象施設として6つの施設が想定されているが、こんなにも多くの施設が複合化されて全て機能できるのだろうか？

図書館、公民館、まちづくりセンターなどは複合化できると思うが、あさひ児童館はどうかと思う。児童館の機能を考えた時に、複合化された施設へそのまま移動して構わないのか？

放課後、土日に子どもが使う場所である。児童館が、図書館や公民館と一緒にあって児童館の機能としてのスペースが確保されるのか？

あさひ児童館は他の複合化される施設に比べて新しい。

他の児童館と比べると運動場はないが、公民館の跡地を運動場として追加すれば現在の場所で十分に機能すると考える。

一方、国際交流ラウンジは複合化されることで、外国人の方が図書館や公民館を利用できるということは素晴らしいことと考える。

他の地域にはない、相模原独自の自負できる施設と言える。

或いは、青少年学習センターも複合化されることで、今まで通りの部屋の利用に加えて、本がすぐ手に取れ、お互いの活動が見えて複合化に向いていると思う。

だが、あさひ児童館はどうかと思う。

まちづくりを考える懇談会において、あさひ児童館の複合化についても意見交換できればと思う。

○複合化施設にあさひ児童館という名称が残るのか不明だが、児童館機能を備えながら世代間交流をできる仕組みとして、子どもたちを対象にしたスペース、広場は複合化施設の中に必要と感じている。

まちづくり会議で地域課題とした「世代間交流」の提言が反映されているのであれば良いと思う。

○子育て機能は賛成、絶対必要と考える。

ただ、児童館については、児童館での子どもたちの動きを見たときに、そのまま複合化施設へ一緒になった場合に、計画にあるような機能が確保できるスペースが確保できるのか？

3階建ての施設の中に子どもたちが利用する放課後や土日を児童館というスペースとして確保することが良い事なのか？

○核家族化して家が小さくなり、友達の家で遊ぶといったことが難しくなり、そういった子どもたちが気軽に遊べる場所として児童館はあると思う。

それが複合化して、ビルの中に入った時に気兼ねなく子どもたちが利用できるのか？と考える。

基本計画は今後市民検討会、パブリックコメントなどを経て来年3月に策定されるものである。

あさひ児童館の複合化については、次回のまちづくり懇談会では一つの懇談内容として話し合い、その結果をもって、まちづくり会議で再度検討して、まちづくり会議としての意見として市に伝えてはどうか？

(2) まちづくりを考える懇談会について

事務局より懇談会の次第、役割分担(案)を提案し委員から了承された。

また、懇談会での質疑を活発に行うために、事前に市へ質問事項を伝えることで懇談会当日に通りいっぺんの回答ではなく、責任ある回答が期待できると考えることから質問したい事項があれば、事前に内容を事務局にお伝えいただき、事前に市へ質問事項を伝えることが了承された。

また、事前に提出がなくても当日の質問は可能であるが、時間の関係もあることから必ず質問できるとは限らないことを説明した。

3 出席委員からの情報提供

- ・国際交流ラウンジより国際交流フェスティバル開催の案内があった。
- ・手作りマルシェフェスティバル開催の案内があった。
- ・青山学院大学より大学祭の案内があった。
- ・消防団より消防団員入団キャンペーンの案内があった。
- ・赤い羽根募金の案内があった。

4 その他

(1) 次回日程について

次回は、令和4年11月29日(火)午後6時30分から開催予定と事務局から報告。

5 閉会

小川副会長が閉会

以上

令和4年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	長谷川 文代	大野北地区交通安全母の会	出
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	欠
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	佐久田 ロサマリア	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	出
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	欠
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	岡部 尚紀	小学校	出
16	古屋 礼史	中学校	欠
17	安部 智	小・中学校PTA	出
18	三條 久美子	青山学院大学	出
19	山岸 優之	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
24	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出